

京都タワーに実質再生可能エネルギー由来電力を導入 塔体部分のライトアップにかかるCO₂排出をゼロに

京阪ホテルズ&リゾート株式会社(所在地：京都市下京区、社長：上野 正哉)が運営する京都タワーは、塔体のライトアップにかかる電力に実質再生可能エネルギー由来の電力を導入します。これは2023年度分より購入を開始した非化石証書※に基づく環境価値を用いたもので、塔体部分のライトアップにかかるCO₂排出をゼロにします。

京阪ホールディングス株式会社(本社：大阪市中央区、社長：石丸昌宏)および京阪グループ各社では、2030年までにより良い世界を目指すSDGsの達成に貢献するべく「BIOSTYLE PROJECT」を推進しており、「BIOSTYLE 環境アクション2030」においては「2050年度のCO₂排出量実質ゼロを目指して、2030年度のCO₂排出量46%削減(2013年度比)」を目標としています。京都タワーは、SDGs、脱炭素社会の実現に貢献するため、再生可能エネルギーを導入し、より「地球環境保全」に貢献する施設として運営してまいります。

※非化石とは、石油・石炭・天然ガスなど、化石燃料以外のエネルギー源を指し、非化石証書はその環境価値を切り離して証書化したものです。

SDGsを実現するライフスタイルを提案する

京阪グループの「BIOSTYLE PROJECT」について

健康的で美しく、クオリティの高い生活を実現しながら、SDGsの達成にも貢献していく。京阪グループでは、そんな循環型社会に寄与するライフスタイルを「BIOSTYLE(ビオスタイル)」として展開し、お客さまにご提案しています。

規制や我慢だけから生まれる活動ではなく、“人にも地球にもいいものごとを、毎日の生活の中に、楽しく、無理なく、取り入れていくことができる明るい循環型社会の実現”に貢献するため、京阪グループにできる様々な活動を推進していきます。

▶ 「BIOSTYLE PROJECT」について詳しくはこちら <https://www.keihan-holdings.co.jp/business/biostyle/>

BIOSTYLE PROJECT

■京都タワー

“産業・文化・観光の一大センターとして活用し、京都市の伸展に貢献する”ことを目指し建てられた京都タワー。白くなめらかなフォルムは鉄骨を使わないモノコック構造で、海のない京都の街を照らす灯台をモチーフにしています。2016年3月には、ライトアップ用の照明器具に、省エネ性能に優れたLED投光器を導入しました。

【営業時間】 10:00~21:00(最終入場 20:30)

【展望料金】 大人:900円、高校生:700円、小・中学生:600円、幼児(3歳以上):200円

【公式HP】 <https://www.kyoto-tower.jp/>

【公式Twitter】 https://twitter.com/kyototower_1228

※表記価格は消費税を含みます。

※予告なく営業時間を変更する場合があります。※画像はイメージです。



<このリリースに関するお問い合わせ/ご掲載用お問い合わせ>

京阪ホテルズ&リゾート株式会社/京都タワー

企画・広報担当/ブランドマーケティング部

TEL : 075-351-0186 (平日 9:00~18:00) FAX : 075-343-3722

Email : press@keihanhotels-resorts.co.jp